

**久留米城本丸**



東西 96.4m、南北 156.4m、石垣高約 15m。中央に御殿、周囲は7つの橋を二層の多門橋で連結した。



**①本丸**  
本丸御殿で久留米藩 21 万石を統治する政治が行われた。現在、石垣や堀が残る。  
●篠山神社  
初代藩主有馬家の当主 5 柱を祀る。社殿は明治 12 年建立。



**②二ノ丸**  
藩主とその家族が生活する二ノ丸御殿や、御馬廄などがあった。  
●大衆院稲荷神社  
豊氏が丹波から久留米城内に移す。篠山神社境内や日吉神社境内にも伝わる。



**③三ノ丸**  
家老など重臣の武家屋敷が並び、藩の年貢米を保管する御水殿が置かれた。  
●三ノ丸堀跡  
現在、遊歩道の両側に往時の土手の痕跡が残る。

**④外郭 (四ノ丸)**  
上級藩士の屋敷や、藩校、藩の役所が置かれた。  
●祇園社 (東福地神社)  
「祇園会」は城下町 3 大祭りの 1 つで、神幸行列は藩主やその家族も見物した。



●旧三馬家長門  
元は外郭の堀家の長門で、明治時代に通町の三馬家に引き継がれた。平成 13 年度、現在地に移転。



●明善堂  
7 代藩主の遺志を継いで、8 代藩主が設立した藩校。  
●大手門  
久留米城の正面玄関口。現在、篠山神社の鳥居が立つ。



●柳原  
延宝 4 年 (1676)、水害対策のため、武家屋敷は城外の京隈小松原小路に移転させた。藩主の庭園や、9 代藩主の御庭「柳原城」の森がつけられた。

**⑥京隈小路**  
上中級藩士の武家屋敷が 140 軒ほど立ち並んだ。  
●梅林寺  
有馬家の菩提寺。「久留米藩主有馬家墓所」は国の史跡。そのうち「有馬家墓五棟」は国の重要文化財でもある。  
●水天宮  
建久年間 (12 世紀) の創建という。現在の社地は 2 代藩主忠頼が寄進。幕末動乱志士・真木和泉守を出す。



**⑨洗切**  
正保 2 年 (1645) に住民を瀬下町に移し、藩の御船手方の居住地とした。瀬下と並ぶ城下の川筋。



**⑦京隈小松原小路**  
延宝 2 年 (1674) に建設される。同 4 年、柳原の武家屋敷を移す。  
●坂本繁二郎生家  
久留米城下に唯一残る武家屋敷。建築年代は江戸時代後期。坂本家は御馬廻組 150 石の藩士。



**⑧庄島小路**  
御親足軽、扶持人など下級藩士の居住地。江戸時代の道筋がよく残る。  
●青木家旧居  
近代洋画家青木篤が居住。青木家は旧久留米藩士。



**⑩通町 (揚町)**  
久留米城下町のメインストリート。延享 2 年 (1745)、通町に改称。  
●札ノ辻  
通町筋と柳川往還筋 (田中道) が交差点に置かれた高礼壇。久留米藩領の道筋の起点。

**⑪両替町**  
町名は井筒屋という両替商があったことに由来する。  
●御使者屋  
藩の役人が他藩の使者や町人などと面会する建物。

●青木家旧居

**有馬の城づくり 町づくり 其の昔 - 西暦前 - 地図**

この重ね地図は、現在の地図に「天保時代久留米城下町地図」(久留米市教育委員会編)の内容を当てはめ作成したものです。江戸時代の地図は正確な測量によって作られたものではありませんので、現代地図と比較する場合は推定であることをご承知ください。

